

元ちゃんの

今年の天気「冬」

旧暦:神無月一日～師走三十日 新暦:令和5年11月13日～令和6年2月9日

1. 元ちゃんの旧暦予想「冬」

温続冬 夙 (年内暖かな冬。冬は夙に起きるが良い)



冬は新暦11月13日から始まります。まだ、閏二月の影響が残り、冬入りも遅れそうです。新暦12月中旬頃から本格的な冬の訪れと予想しますが、季節の歩みは遅く、新暦2023年いっぱいには暖かさが残るでしょう。新暦2024年に入ってから寒くなりそうです。

冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。

(写真:旧暦神無月六日 燃える雲(ターナーの絵のような雲) <新暦11月18日>)

2. 今年の「冬」

季節事象	観測日(新暦)	観測日(旧暦)	平年差
カエデ紅葉(銚子)	5.12.8	神無月廿六日	-4
初氷(銚子)	5.12.22	霜月十日	-1
初霜(銚子)	5.12.23	霜月十日	+7
白梅開花(銚子)	6.1.12	師走二日	-8
初雪(銚子)	6.1.13	師走三日	+8

平年差: +<遅い> -<早い>

【気象署の季節観測】

旧暦上の冬は新暦11月13日からです。暖かった新暦11月も中旬頃より寒気の影響を受け、寒くなり始めました。ようやく冬が訪れたって感じですかね。「冬入りが遅れる」という僕の予想はほぼ的中とあって良いでしょう。その後いったん暖かくなりましたが、今度は新暦12月中旬頃から冬型の気圧配置が強まり、一気に寒くなりました。北・東日本日本海側を中心に大雪となった所もありました。「12月中旬頃から本格的な冬の訪れ」とも予想していましたが、どうやらこれも的中したようです。その後はまた暖かさを取り戻し、「年内暖か」との予想も中。この冬を含め、新暦2023年の元ちゃんの天候予想はますます当たった、と断言していいと思います。新暦2024年1月は能登半島を震源とする大地震発生という波乱の幕開けとなりました。新暦1月は下旬に西日本方面で一瞬寒くなりましたが、基本的には暖かかったです。そして、旧暦上の冬は新暦2月5日の大雪で幕を閉じました。そういえば東京では雷がなっていましたね。新暦2014年2月以来10年ぶりの“雷を伴った降雪”だそうです。

3. 元ちゃんの「冬」



季節外れのイチゴの開花
神無月廿八日(5/12/10)



季節外れのスミレ開花
霜月十八日(5/12/30)



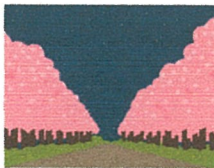
新暦元旦初日の出
霜月廿日(6/1/1)



野田市の初積雪
師走四日(6/1/14)

4. 元ちゃんの旧暦予想「春」 新暦6.2.10～6.5.7

青龍昇遅 (セリウコウチ) (残り雪に注意。少し遅めの春)



令和六年の春節(旧暦元日)は新暦2月10日。昨年の閏二月の影響が残り、春の入りは若干遅めと予想します。このため、梅、桜とも開花は平年並みかやや遅めですね。本格的な春の到来は新暦3月上旬ころから。なお、この春は残り雪に注意が必要です。

『夜桜に 後ろの闇の ありてこそ』(今井つる女)